

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社 竹内製作所)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			多能工教育により、他工程への応援生産が可能となり助け合いの重要性を認識することで、仲間の大切さを全員が認識している。また、礼儀や感謝など社員研修にて学び人としての品位の向上を目指している。							5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8										16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			年2回の定期個別面談の実施と、都度経営トップから管理職への指導を行なっている。ポトムアップの機会も常に設け、朝礼、夕礼共に発信を推進している。							5.1 5.2 5.5					8.5 8.8										16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			【予定】 時間外労働の撲滅達成。年間休日拡大を計画中													8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			外国人の就業実績はないが、外国人学生の研修や見学の機会などを積極的に推進している。				4.4									8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			毎日全員で5S活動を実施し、環境整備を行なっている。				3									8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			一人当たりの作業量の調整と、定期的に声掛けを行い、体と心に負担をかけすぎないようにしている。				3																		
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			労働意欲があれば心臓疾患、精神疾患、高齢者なども登用し、個人の体力、スキルに適した業務分担により活躍の場を創出している。					5.1 5.5							8.5		10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			スキルマップを元に計画的な教育と、外部研修への参加を推進している。研修参加費や実費を会社で負担することで参加のハードルを下げている。				4	5.5							8	9									
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			能力と重責によって労使の締結をしている。					5.5								8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			健康診断の拡充と健康不安への相談窓口の設置。また、傷病時の保険加入の増資。休憩時の飲食物の提供で気分転換とコミュニケーションの場の創出。				3									8									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物の種類、量を管理台帳で把握している。															11.6	12				14.1		
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			電力と灯油の使用量から、排出量を算出し、把握している。												7.3							13			
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			電力の使用量と灯油の使用量を把握し、使用抑制することで温室効果ガス排出の低減を目指している。												7.2 7.3						12.4	13.3			
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			顧客要望によりRoHS(危険物質に関する制限令)に協力しているため。				3.9			6.3											11.6	12.4			

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			鉢植えを行い緑を増やし、トイレ棟の壁にグリーンカーテンのアサガオを育てている。						6.6							15				
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			リデュース…不良の削減で素材の使用を最低限にする。 リユース…工具を再研磨することで再利用している。 リサイクル…切粉の種類別にドラム缶に入れ、リサイクル業者に回収してもらっている。											13	14.1					
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	節水以外の活動として、小水力発電の研究を実施している。将来的に発電に結び付けたい。						6.4 6.6											
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		【予定】	エコアクション21の取得を検討している。			3.9			6	7						12	13.3	14	15	
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			温室効果ガス排出量の把握を行いWeb公開している。													12.6				
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	節水以外の活動として、小水力発電の研究を実施している。将来的に発電に結び付けたい。						7.2								13			
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			紛争メタル廃絶運動に賛同し調達先と意見交換している。													12.2	13	14	15	
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			人としてあってはならないこととして、社員にも教育している。															16 16.5		
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			現時点では基本的には客先から発行された図面に従って生産しており、自社開発の製品はない。															16		
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			当社では現在知的財産物を保有していないが、セミナーを受講し、知識として勉強を行っている。							8.2 8.3	9									
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			書類に関しては鍵付きの書庫に保管しており、鍵自体も管理者以外の目につかない場所で保管している。 インターネットにおいては、外部からの侵入を防御するようセキュリティに細心の注意を払っている。 長野県警公安警察による巡回を頂いており、情報交換を行っている。																16	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		紛争鉱物の素材の取り扱いはない。																16	
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			地域企業共同BCPの策定推進や地域まちづくり委員会への参画を行い、地域全体の安全安心に寄与している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【非該当】		下請け型企業の為宣言対象外であるが、物品購入時など適正価格を協議する用意をする。			3						8	9	10						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定